

見守りが必要な人の生活を 地域で支えていくために

～地域包括ケアシステムにおける薬局の役割～

令和4年度
川崎市在宅チーム医療を担う地域リーダー研修
2023年2月26日



セントラル薬局グループ
取締役 兼 薬局運営管理部長
藤山 亮太

地域包括ケアシステムにおける薬局の役割

①適切な薬物療法の提供



②健康サポート機能



③在宅医療への対応



高齢者における薬物療法の課題

- ◆ 腎機能・肝機能低下
- ◆ 多剤併用での副作用・相互作用・類似薬処方
- ◆ 口腔フレイル・口腔乾燥・嚥下機能低下
- ◆ 認知機能の低下
- ◆ 残薬
- ◆ 筋力低下

残薬問題

コンプライアンス不良の可能性

(億)

1200

1000

800

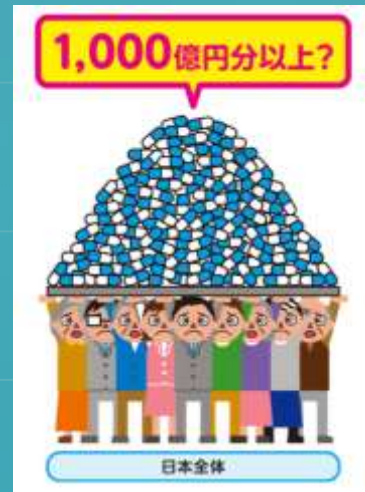
600

400

200

0

残薬は日本全体で**1,000億**円分超え
その中でも**75歳**以上の在宅高齢者分は
半数近くの**475億**円分



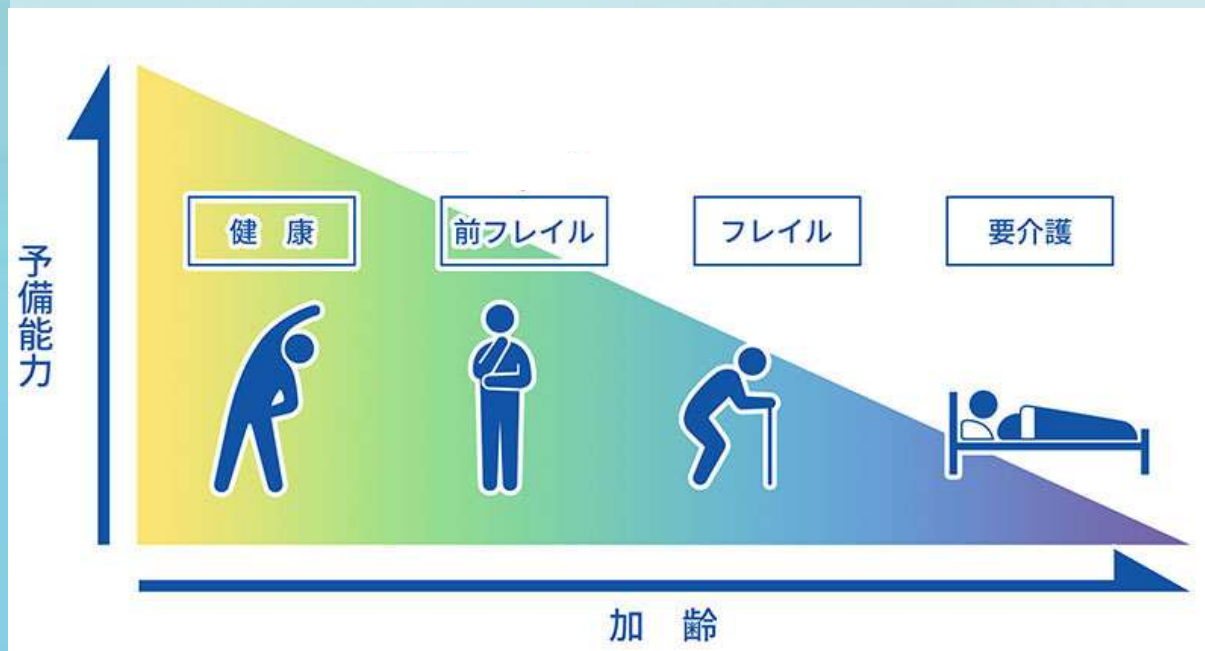
■ 日本全体 ■ 75歳以上の在宅高齢者

アドヒアランス向上のために

服薬数を少なく	降圧薬や胃薬など同薬効2～3剤を力価の強い1剤にまとめる
服用法の簡便化	1日3回服用から2回あるいは1回への切り替え 食前、食直後、食後30分後など、服用方法の混在を避ける
介護者が管理しやすい服用法	出勤前、帰宅後などにまとめる
剤形の工夫	口腔内崩壊錠や貼付剤の選択
一包化調剤の指示	降圧薬や胃薬など同薬効2～3剤を力価の強い1剤にまとめる
服薬カレンダーの利用	

(日本老年医学会：健康長寿診療ハンドブック 2011. より引用)

薬剤管理能力の推移



服薬支援

スマホで見守りできる服薬支援ロボット



お部屋が高温になっています。
熱中症のおそれがあります。

今日のごみの日です。

朝のおくすりの時間です。

いろいろ
教えてくれて
ありがとね！

2021年(令和3年) 10:00
4月20日(火)
室温 22℃ 湿度 48%

FUKU助
見守り・服薬支援ロボット

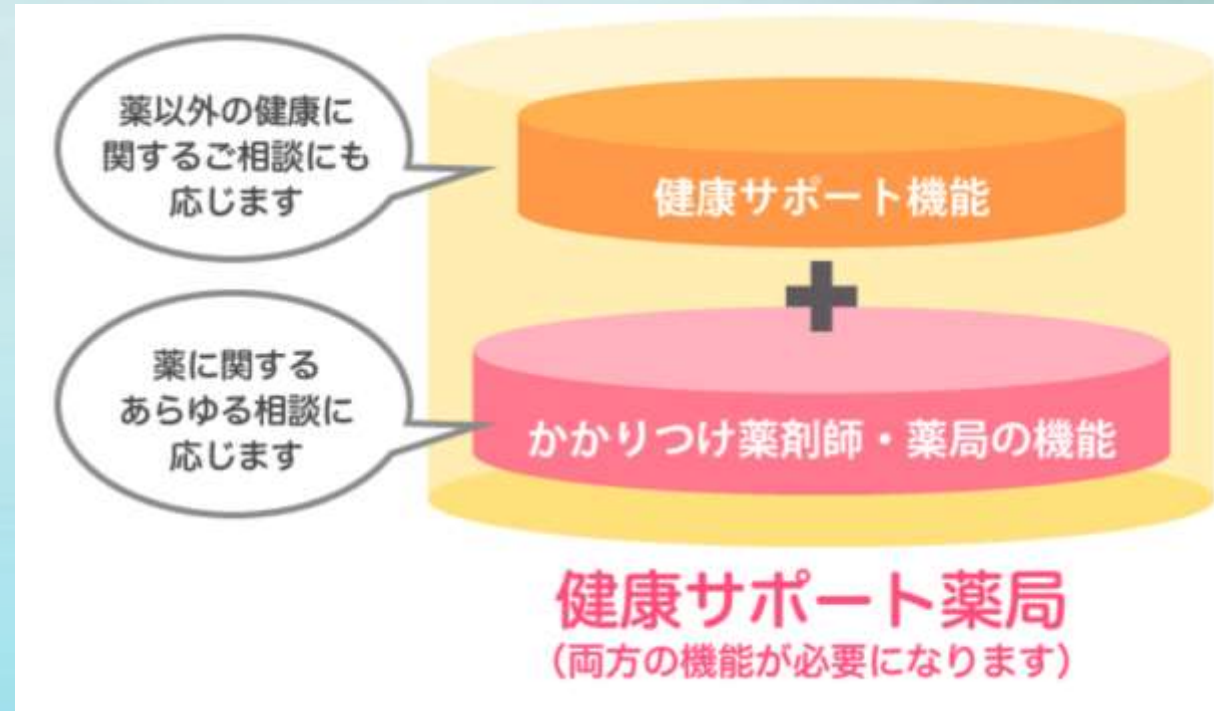


健康サポート薬局

専門知識を持った薬剤師が、要指導医薬品や介護用品などの適切な商品選びのお手伝いをします

相談内容によって医療機関での受診の提案や必要に応じ他の関係機関をご紹介します

健康相談に関するイベントを開催しています。
イベントにはどなたでも参加いただけます



Aさん（71歳・男性）の場合

【既往歴：高血圧・脂質代謝異常症・便秘症・花粉症・喘鳴】

《服用中のお薬》

アムロジピンOD5mg	1錠	
ミカルデイス40mg	1錠	
Crestor OD2.5mg	1錠	1日1回朝食後
ムコソルバン15mg	3錠	1日3回毎食後
マグミット500mg	2錠	1日2回朝・夕食後
プルゼニド12mg	1錠	
ビラノア20mg	1錠	1日1回就寝前



【背景】

2年前までは自身で管理出来ていたが
現在、服薬コンプライアンス不良。
特にムコソルバン、ビラノア、センノシドの
残薬が過多になっている。

コンプライアンス不良の原因

【原因】

朝に、降圧剤2種類を含む5錠の多剤服用となっている。
毎食後の去痰剤、
19時に夕食、21時には就寝しているため、
夕食後薬と就寝前の服用が負担となっている。



【対策】

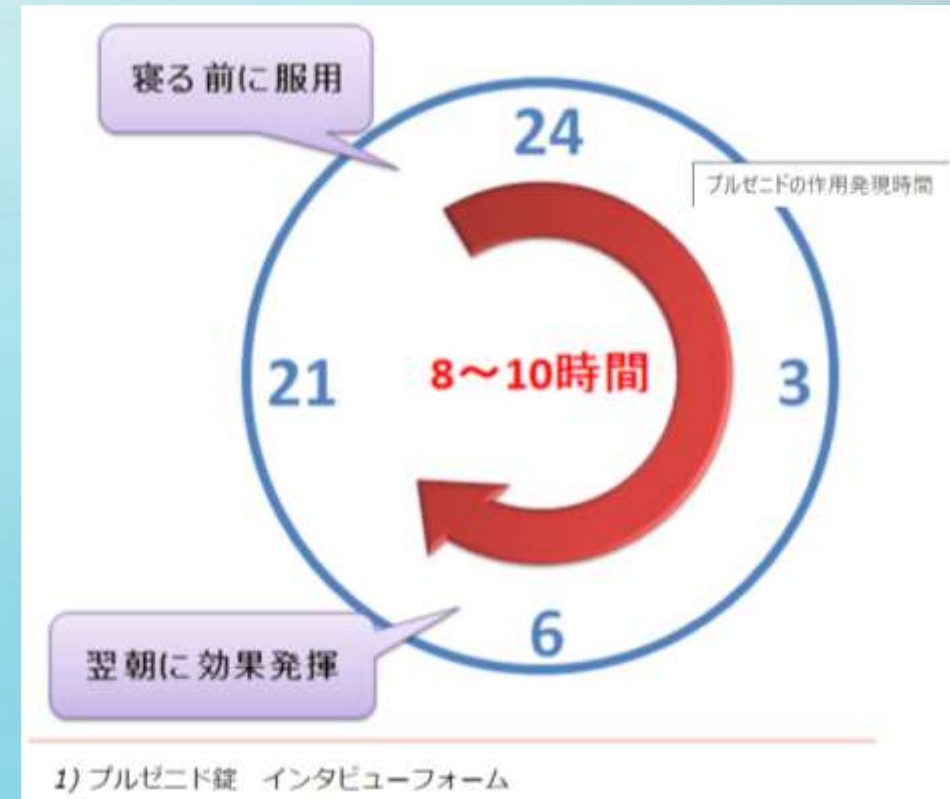
- ①降圧剤を合剤に変更 → 朝の服用薬剤を減らす
- ②去痰剤を効果の長い薬へ変更 → 3回の服用から1回へ
- ③添付文書上、就寝前薬となっているセンノシドを夕食後へ変更
→就寝前薬を無くし、1日の服用回数を減らす

《参考》プルゼニド 添付文書

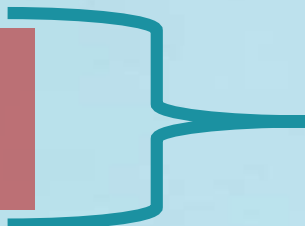
【用法】

センノシドA・Bとして、通常成人1日1回12～24mgを**就寝前**に経口投与する。高度の便秘には、1回48mgまで増量することができる。なお、年齢、症状により適宜増減する。

一般論として、寝る前に服用すると翌朝に効果が得られることが多いため、「寝る前」として処方されることがありますが、睡眠薬のようにきっちり「寝る前」に飲まなければならない薬ではありません。



薬剤名	用法			病名
アムロジピンOD5mg	1錠	分1	朝食後	高血圧症
ミカルディス40mg	1錠	分1	朝食後	高血圧症
クレストール OD2.5mg	1錠	分1	朝食後	脂質代謝 異常症
ムコソルバン15mg	3錠	分3	毎食後	去痰薬
マグミット500mg	2錠	分2	朝夕食 後	便秘症
プルゼニド12mg	1錠	分1	就寝前	便秘症
ビラノア20mg1	1錠	分1	就寝前	花粉症



薬剤名	用法			病名
ミカムロ配合錠AP	1錠	分1	朝食後	高血圧症
クレストール OD2.5mg	1錠	分1	朝食後	脂質代謝 異常症
ムコソルバン L 15mg	1錠	分1	朝食後	去痰薬
マグミット500mg	2錠	分2	朝夕食 後	便秘症
プルゼニド12mg	1錠	分1	夕食後	便秘症
ビラノア20mg1	1錠	分1	就寝前	花粉症

7剤 服用回数4回（朝・昼・夕食後・就寝前）服用



5剤 服用回数2回（朝・夕食後）服用

【課題】薬剤師⇒多職種への情報共有

★服薬情報等提供料 2 とは

患者もしくはその家族等（ケアマネ含む）からの求め、或いは薬剤師が必要性を認めた時に、患者の同意を得た場合に算定できる薬学管理料のこと。

【提供が必要な情報】

- ・患者情報
- ・情報提供の概要
- ・処方薬情報
- ・併用薬剤等の情報（OTCやサプリメントを含む）
- ・処方薬剤の服薬状況と指導内容
- ・患者さんや家族などからの情報（副作用の恐れがある症状、薬剤服用に関する意向など）
- ・薬剤に関する提案

一包化調剤／居宅療養管理指導の導入においては、下記2点が必要である

【患者の同意】 【主治医の承諾】

ケアマネ不在の場合には、誰に情報を共有すべきか??

☞ **薬局側が必要性感じても、**

情報の取り扱いには十分に留意する必要性がある

- ・ **患者様の自尊心を傷つけない配慮**
- ・ **医師⇔患者様の信頼関係の尊重**
- ・ **個人情報保護**